



※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和4年2月定例会を選択すると視聴できます。



うすい ゆきこ  
**臼井 由紀子**

(富岳会)

### 生涯学習と地域づくりについて

**問** 住民の主体的な参加型による持続可能な社会づくり及び地域づくりがなされているか伺う。

**部長** 従来からの講座や学級に加え、参加者同士が交流する地域交流事業を実施している。柚野公民館で実施している「おいしい富士山プロジェクトおむすびで富士山を作ろう」が評価され、令和元年度第72回優良公民館表彰において全国で表彰された75館のうち、特に優れた活動をしている5館の優秀館の一つに選ばれた。住民同士が目標に向かって活動する機会を提供し、地域の一体感、きずなづくりにつなげている活動が認められたもの。今後もそれぞれの地域の特色や施設の特徴を生かしながら、地域住民や関連団体等と連携して事業を実施していく。

**問** 地域づくりという観点から、生涯学習の場として公民館については交流センター化が進んでいる。新しく建てられるのはみんな交流センター化になっているが、交流センターにしてメリットがあるのであれば、今までの公民館というものをなぜ交流センターにしないのか伺う。

**部長** 交流センターを開設する場合の課題として、新設する場合には莫大な建設費がかかること。類似施設である公民館との位置づけなどを管理者である教育委員会と調整が必要であること。指定管理者制度を含めた管理運用面の整理も必要となることなど、多くの調整が必要。このようなことから、交流センターの設置に当たっては、地域の皆様や教育委員会などの関係者と十分協議して、検討していかねばならない。

**意見** 公民館が他市にみられるまちづくり協議会のような住民がいろんなことができる地域づくりの拠点となれるよう検討してほしい。



つじむら たける  
**辻村 岳瑠**

(育成)

### 住み慣れた地域で暮らし続けるための高齢者に対する支援について

**問** 人口減少だが世帯数は増加。高齢者夫婦世帯や単身世帯の増加の中、団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題を見据え、住み慣れた地域で暮らしたいという思いをかなえるために、入所措置について、地域の老人福祉法の施設を活用した方法を考えていく必要があると思うがいかがか。

**部長** 非常に長いスパンでは、考えられにくい。しかし現状の中では考えにくい。

### 顧客の視点に立った観光目的地、観光消費額を上げる施策についての提案

**問** 人口の1/3である4千万人が登録しており、3割還元サービスによる観光目的地、観光消費額増加が期待できるペイペイと自治体に

よる連携企画を提案するがいかがか。

**部長** QR決済に踏み切れない店舗経営者の状況を伺っている。適切なタイミングが重要であり、高齢者の方、デジタルデバイド等、全体的なバランスを考え導入を見送っている。

**問** 障がい者の社会参画の促進やユニバーサルツーリズムの普及、促進に繋がる、ミライロID\*の導入を提案するがいかがか。

**部長** 利便性が確保できるか調査研究。障がい者手帳提示に代わるものとしてミライロIDが公共交通機関や各種施設で利用できるようになれば、障がい者の社会参画につながると考える。

**問** 富士宮市のイオン内7店舗が閉店。コロナ禍で商業も随分と変わってきている。そこで市の商業基本計画の策定を提案するがいかがか。

**部長** 市の総合計画で商業の現状分析を行っているため基本計画の策定は考えていない。近隣市町の状況を調査し、必要性を精査する。

\*ミライロIDとは、障がい者手帳を所有している方を対象としたスマートフォン向けアプリ。